



# 東 風

学校ホームページ  
QRコード

横浜市立綱島東小学校

## 共によりよい成長を願って

教務主任 大関 陽介

2月になり、寒い日が続きますが、旧暦上では立春を迎えて春になります。令和4年度も来月で終わり、子どもたちは次の学年へと進級していきます。子どもたちのよりよい成長を願って、普段感じていることをお伝えできればと思います。

本校の教職員は皆、子どもたち一人ひとりが、将来自立し社会で充実して生きていけるようにと願っています。例えば、「周りの人への思いやりの気持ちを持ち、進んで行動できるようになってほしい」、「家庭や地域に支えてもらっていることに気づき、感謝できる人になってほしい」などです。そのために、学校行事があり、授業があります。これまでの生活をふりかえったり、私たちの経験を話したりする中で、一つでも生きる上でのヒントを得たり、理想とする生き方を考えたりしてもらえたら嬉しく思います。様々な子どもたちがいて、信頼関係が築け、余すところなく思いが伝わることもあれば、上手く伝わらないこともあります。また、学校と家庭で見せる顔が違うこともあります。年齢が上がるにつれ、両方に都合の良いことを伝えることもあるかと思いますが、それでも、職員同士・管理職と相談しながら、教職員として子どもたちの成長のために精一杯関わろうとしています。そして、学校だけでは、子どもたちのよりよい成長を育むことはできません。

学校だよりの10月号に、学校長が「通じる心」というタイトルで、以下のように書きました。「保護者の方と教師との関係が、一緒に子どもの教育を考えるという方向性を同じくしたものであること。教師にまかせるところ、保護者の方にまかせるところを、お互いが理解しあっていることが大切なのではないかと思います。」

この綱島東小学校に赴任して10年を超え、様々な機会に保護者の方々と関わらせて頂きました。そして、たくさんの方が本校の教育活動にご理解・ご協力くださいました。保護者の皆様から暖かい言葉をいただくことが、私たちにとって心の支えになっています。また、綱島東小学校の子どもたちは、素直な子どもたちが多く、人と関わることを好んでいる印象があります。それは、これまでに家庭や地域の皆様のご協力をいただいているからこそなのだと思います。これからも、一方的ではなく、子どもたちの成長を願って、共に考えていける関係をお願いできればと思います。学校も保護者の皆様の信頼を一層得られるよう努めていきます。

綱島東小学校の学区は、利便性が高い中に、畑や工場があり、どこか懐かしい雰囲気があります。住宅が増え、新駅も出来て、大きく変化しているまちでもあります。そんな地域の中で、学校運営協議会の方々を始め、交通安全のボランティアの方々、学校地域コーディネーターの方を中心に始まったボランティア活動「まるっとつながりが」など、改めて地域の方々にも支えられていることを強く実感します。そして私たち教職員だけではなく、子どもたちも綱島東・樽町のまちに親しみを持ち、たくさんの方々に支えてもらっていることに気づいてほしいと思います。そうした経験は、他者への思いやりや感謝という心を成長させるのでしょうから。

旧暦の2月は、「雪消月」、「木の芽月」、「恵風」とも言われるそうです。雪がなくなり、木の芽が出てきたり、暖かい風が吹いたり、春が近づいて来るところからそう呼ばれるのでしょう。気持ちも暖かくなるような月になるように、職員一同、精一杯取り組んでいきます。変わらぬご支援ご協力をお願いします。

